

第二次霧島市総合計画(後期基本計画)施策評価シート

令和7年度

政策	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	SDGs									
施策	2. 活力ある農・林・水産業の振興										

施策で目指す姿

- 農林水産業の生産性の向上や労働環境改善に対する支援を行い、担い手や新規就農・就業者の育成・確保に努めます。
- 農林水産業を支える生産基盤の整備・保全に取り組み、地域特性を生かした農山漁村の振興を図ります。
- 良質で付加価値の高い農林水産物の生産と消費拡大等を促進することで、農林水産業者の所得の向上と経営安定を目指します。

基本事業における成果・課題・改善策

1. 農林水産業の担い手の育成・確保		決算額	219,373千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
●担い手経営発展等支援事業(44名に計49,397,000円を交付)や農業次世代人材投資事業(認定新規就農者延べ9名にソフト・ハード含め計9,107,354円を交付)の実施により、農作業の効率化や担い手の育成・確保を図った。 ●認定林業事業体において、労働強度の縮減対策として防護服の購入補助や新規就業者への定住化支援となる家賃補助を行い、雇用の安定を図った。	●新規就農者の多額の初期投資負担により、経営が安定しないケースがあり、離農することなく定着化させることが課題となっている。 ●林業就労者の担い手不足や新規参入者が少ないことで、安定した雇用形態が構築されておらず、森林整備等の業務に影響が出かねない状況でもある。	●市独自事業である「担い手経営発展等支援事業」や国県補助事業(新規就農者育成総合対策事業等)の活用、中古の農業機械や施設、経営継承の利用推進を図り、担い手農家や新規就農者の経営安定及び生産性向上を支援する。 ●引き続き、担い手確保のための技能習得に係る研修費や新規参入者の定住化促進のための家賃補助等の支援により、安定した雇用を目指す。	
2. 生産基盤の整備と農山漁村の振興		決算額	835,282千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
●鳥獣被害防止総合支援事業で電気柵等を設置(13地区)し、鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業では、有害鳥獣の捕獲(4,827頭)を行い農作物への被害を防止した。 ●森林環境譲与税を活用して、民有林の間伐や再造林等森林整備に対して一部助成を行い森林保全を図った。 ●水産業では、漁協が実施するイカの漁礁設置活動や種苗放流事業に対して支援を行った。	●農業従事者の高齢化や、担い手不足による耕作放棄地の増加から年々農作物の被害が増加しており鳥獣被害対策事業費も増加傾向となっている。 ●民有林の伐採後、植栽をせず天然下種更新を行うことが増加しているため、伐採後の木材利用が減少していくと思われる。 ●稚魚の放流等を支援することで漁業振興に努めているが、漁獲高への影響は判明しにくい。	●有害鳥獣による農作物被害は、依然として大きな課題である。令和8年度に有害鳥獣捕獲アプリを導入し捕獲情報のリアルタイムなデータの一元管理が可能となる。これにより捕獲隊の負担軽減が図られ新規隊員の増加も期待できる。 ●伐採後の再造林が進むように、森林所有者の植栽意欲を高めるためにも、引き続き負担軽減を図る必要がある。 ●水産資源の維持・増進を図るため、漁協が実施するイカの漁礁設置や種苗放流事業を継続する。	
3. 農林水産業の稼ぐ力の向上		決算額	139,965千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
●農業の「稼ぐ力」向上プロジェクト推進事業は、より効果的な支援につながるよう制度の見直しを行い、農業者や農業者団体等による自主的な活動に対する支援が図られた。 ●本市農畜産物の知名度向上を図るため、茶や和牛を中心に品評会や共進会への出品に取り組み、茶においては産地賞や農林水産大臣賞など上位の賞を受賞するなど、市民や県内外への魅力発信につながった。 ●水産まつりにおいて、鮎や岩ガキ、霧島うなぎ等を販売し、水産資源のPRと水産物の消費拡大を図った。	●市場価格の変動により、農業者が経営を続けられるよう、収益の安定向上やコスト削減に取り組むことが持続可能な農業の実現に向けて求められている。 ●水産まつりで販売する鮎等の水産物の確保やイベント運営に携わる関係者の高齢化等により、年々、イベントの継続に危惧する面がある。	●今後はより効果的に農業者支援が推進できるよう農業者のニーズに合った事業内容の見直しを行う。 ●水産まつりを継続して運営していく上で、内水面や海面漁協が中心となる体制づくりやそれに応じたイベント規模で行うことが必要と思われる。	

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
6. 農林水産業の生産・流通等は活力があると思う市民の割合	市民意識調査	%		未把握
		38.2%	↑	
7. 新規就農者数	始良・伊佐地域振興局が把握した新規就農者数(N-1)	9人	80.00%	就農相談等を通じて目標値の新規就農者の確保に努めたが目標値に達しなかった。
		10人	↑	
9. 林業生産額	鹿児島県「市町村民所得推計報告」の産業別市内総生産(N-3)	1,213,000,000円	*****	伐期を迎えた森林が増え、木材需要量が増加したと思われる。
		1,071,000,000円	→	
8. 農業産出額(推計)	農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」(N-2)	25,290,000,000円	*****	前年度と比較した場合、鶏卵の算出額が特に増加し全体の農業算出額が増加している。
		21,220,000,000円	→	
10. 水産業生産額	鹿児島県「市町村民所得推計報告」の産業別市内総生産(N-3)	311,000,000円	*****	目標値に対して、水産業の生産額が大きく上回った。
		140,000,000円	→	

改善策を踏まえた施策としての取組方針
●機械導入や施設整備への補助及び関係機関との連携強化により、技術面・経営面の支援を継続し、新規就農者確保と農業経営の安定化を推進する。 ●人口減少に伴う荒廃農地や鳥獣被害の増加に対応するため、引き続き、ほ場整備・農業用施設の維持管理や鳥獣被害防除対策を推進する。 ●森林環境譲与税を活用した森林間伐・再造林支援により、森林資源の循環利用と農山漁村の環境保全を図る。 ●農業の「稼ぐ力」向上プロジェクト推進事業により販売促進に取り組む農業者等を支援するとともに、全国茶品評会、全国和牛共進会の上位入賞に向けた取組や「ゲンセン霧島」認定制度の活用等を通じて、農林水産物の認知向上と消費拡大につなげる。

施策幹事課	関係課
農林水産部農政畜産課	農林水産部林務水産課 / 農林水産部耕地課 / 農業委員会事務局